

# 哲學研究

第四十七卷 第六册

第五百四十八號

昭和五十八年十月二十日發行

彙報

フレーゲにおける論理哲学の形成……野本和幸

——意味論の視点から——

緯書鄭氏学研究序説……池田秀三

探究と倫理……伊藤邦武

——バースにおける  
プラグマティズムと規範学の理論——

〔討議(一)〕「純粹・実践・理性の批判」とは  
何を意味しうるか……森口美都男

〔討議(二)〕(A)品川嘉也氏の最近論文

『力学における決定論と意識  
の自由について』を読んで……山崎和夫

(B)力学における決定論とは何か……品川嘉也  
——古典力学の隠された変数——

京都大學文學部内  
京都哲學會

## 京都哲學會規約

- 一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖ることを目的とする
- 一、右の目的のために左の事業を行う
  - (一) 會誌「哲學研究」を發行する
  - (二) 毎年公開講演會を開く
  - (三) 隨時研究會を開く
- 一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく  
委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會において推薦したものに委嘱する
- 一、本會は賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中から委員會が推薦する
- 一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない 學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入會することができる
- 一、會員は會費として年三、六〇〇圓(會誌代を含む)を前納する
- 一、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行事に出席することができる
- 一、本會は事務所を京都大學文學部内におく
- 一、規約の改正は委員會の決定による

## 京都哲學會役員

### 委員

池田秀三 伊藤邦一 上田閑能 梶山好雄 木曾修平 酒井善丞 佐々木 清々 清水御代 清村久 辻村 中谷裕 西谷 長谷正 服部正 日原利正 平原俊二 藤澤令夫 寶丸壽誠 松丸克己 御牧雄 水垣涉 本吉良 森口美都 山田都 吉岡健二

らに意味深く、また一層明瞭となる。

(芸術批評は美しいものを美しいと判定することだが、それと判断力批判との関係をカント自身断っている)。聖性と神とへの讃歌こそが、「批判哲学」の隠れた推進力ではあつたのである。して見れば、「純粹実践理性の称揚」(仮訳)は「学としての道德の形而上学」よりも一次元高いことは明らかであらう。だからこの「道德の形而上学からの純粹実践理性の称揚への移りゆき」という表現には何らの不自然なところもないと言つてよい。学としての形而上学にもさらにその彼岸があるのである。

——「今日でも自由は可能であるか」——マックス・ピカート  
[ ]

「あとがき」前掲拙著『「世界」の意味を求めて』のうちには「批判と形而上学」という章がある。あれも、今では、十全ではないと言ふほかはない。

(筆者 もりぐち・みつお 京都大学文学部〔倫理学〕教授)

前号(五四七号)の誤植訂正

誤 正

八二頁四行 全八巻を発見し 第八巻を発見し

討 議 (一)

一三三

前 号 目 次

トマス・アクィナスにおける《レス》と 《エッセンチア》について……………	山田 晶
絵画空間について(承前・完)……………	新田博術
——アルベルティとヒルデブランド—— ルターとオッカム主義の伝統……………	金子晴勇
物自体と『純粹理性批判』の方法……………	福谷 茂
〔調査(一)〕エルウィン・ベルツの遺産……………	佐々木丞平
〔調査(二)〕道教の旅から……………	小南一郎

次 号 論 文 豫 告

人類はなぜ人類なのか……………	江原 昭善
曼陀羅の構成について……………	清水 善三
いわゆる「原型」思想について……………	日高 敏隆
体験と形而上学……………	林 愛子
——ジャンケレビッチ哲学の理解の試み——	
〔報告〕パサデナの冬……………	平野 俊二

- 演習 講師 本庄 良文 *Pail Utana* [共]  
 哲学 助教授 御牧 克己 チベット語(初級) (各学科共通)  
 語学 講師 正信 公章 チベット語と共通 [共]  
 講師 正信 公章 ※サンスクリット文法(各学科共通)  
 通サンスクリット語、インド哲学史、西南アジア史学、梵語学梵文学と共通)

## 基督教学

- 講義 講師 佐藤 吉昭 ※キリスト教古代思想史概説  
 研究 教授 上田 閑照 マイスター・エックハルト研究  
 (宗教学と共通) [共]  
 講師 今井 晋 ルターにおける神秘主義の諸問題 [共]  
 講師 森田雄三郎 科学・技術・哲学と神学 [共]  
 演習 講師 荒井 章三 古典ヘブライ語文法(Waingren, Hebrew Grammar, Oxford U. P.)および創世記原典の講読(西南アジア史学と共通) [共]  
 講師 高森 昭 Fr. Schleiermacher: Der christliche Glaube, 2. Auflage, hrsg. von M. Redeker [共]  
 講師 榊形 公也 Kierkegaard: Krankheit zum Tode (倫理学と共通) [共]

## 會員各位

京都哲学會は去る昭和五十四年一月二十五日の委員会において、次の通り新しい編集方針を決定いたしました。

一、外国人学者の論文の翻訳は、当分の間、原則として掲載しない。

二、掲載論文は、原則として、四百字づめ原稿用紙六十枚までとする。

三、掲載論文については、その都度、二名以上の委員が閲読、承認したものに限る。

四、彙報を復活する。

五、適当な書評欄を復活する。

六、上記の編輯方針は刊行が順調に行われるまで継続する。右の決定は、「哲学研究」第五百三十七号(一〇五頁)に會告として掲載いたしました。會員の爾後の著増にも鑑み、ここに再録いたしました。宜しく御承知おき下さいますよう、あらためてお願い申し上げます。

京都哲学會

昭和五十八年十月

會 告

一、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けません、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文學部内京都哲學會(振替口座京都二一四〇三九番 京都哲學會)宛に規定の會費(年三、六〇〇圓、但し、會誌數冊分)をお拂込下さい

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文社(振替口座東京二一九二四七二番)宛に願います  
一、會員の轉居・入退會の事務及び編輯事務の一切は京都哲學會宛に御通知下さい

一、本誌の編輯に關する通信・新刊書・寄贈雜誌等は本會宛にお送り下さい

京 都 哲 學 會

京都市左京區吉田  
京都大學文學部内

昭和五十八年 十月十五日 印刷  
昭和五十八年 十月二十日 發行

編輯兼 京 都 哲 學 會  
發行人 京 都 哲 學 會  
編輯代表 酒 井 修  
編輯担当 伊 藤 邦 武

賣 捌 所 株式會社 創 文 社

久 保 井 理 津 男  
東京千代田區一番町一七番地  
振替口座 東京二一九二四七二  
電話東京二六三二七〇(代表)  
曙 印 刷 株 式 會 社  
印刷所 曙印刷株式會社  
東京都文京區関口一四一八

註 文 規 定

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する件は「創文社」へ御申込下さい  
一、本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、送料六〇圓)前金にてお送り下さい

昭和五十八年十月二十五日発行

# THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

---

---

Vol. XLVII

October

1983

No. 6

---

---

## Articles

*The Development of Frege's Philosophy of Logic*

..... Kazuyuki Nomoto

*An Introduction to the Study of Chêng-hsüan's Scholarship*

*on Wei-shu* ..... Shuzo Ikeda

*Inquiry and Ethics*

— *Peirce's Pragmatism and the Theory of Normative*

*Sciences* — ..... Kunitake Ito

## Discussions

*Was könne ,die Kritik der reinen praktischen Vernunft' besagen?*

..... Mitsuo Moriguchi

*On a Recent Paper of Professor Shinagawa*..... Kazuo Yamazaki

*Reply to Professor Yamazaki*

— *What is the Determinism in Mechanics?* —

..... Yoshiya Shinagawa

## Notes

Published by

**THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY**

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)

Kyoto University

Kyoto, Japan

ISSN 0386-9563

雑誌コード 06427-10 特別定価 1,500圓